



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT
KOBE PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988

神戸ポートワイズメンズクラブ

〒650-0001 神戸市中央区北野町 1-1

新神戸ビル7F

神戸 YMCA 本部事務局

Tel 078-241-7201

Fax 078-241-7479

E-Mail: houshi@kobeYMCA.org

http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第2木曜日 7:00-9:00P.M.

第2例会 第4木曜日 7:00-9:00P.M.

第 351 号

2017年3月

神戸ポートクラブ会長(CP)大野智恵『「ワイズ」の輪と和を広げよう!』 "Expand circle and harmony of Y's!"

国際会長(IP) JOAN WILSON(カナダ) "Our Future Begins Today" 「私たちの未来は、今日から始まる」
アジア・太平洋地域会長(AP) Tung Ming Hsiao(台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ」運動を尊重しよう」
西日本区理事(RD) 岩本 悟(熊本にし) 「ワイズ」魂で 更なるワイズ」の活性化を!」 "Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit!"
六甲部部长(DG)長井慎吾(西宮) 「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ活性化を図ろう」
3月強調月間 JWF

JWF は、皆様の厚意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします。

森本榮三 JWF 管理委員長(大阪高槻クラブ)

< 3月第1例会 >

3月 は、関西学院中等部宗教主事福島旭氏をお迎えしてお話を聞きます。多数ご出席ください。

< 記 >

日時: 2017年3月9日(木) 19:00~21:00

場所: 三宮ターミナルホテル4階六甲の間

ドライバー(担当): 佐野ワイズ、丹羽ワイズ

開会点鐘: 大野智恵会長

聖句/祈祷: 西澤他喜衛ワイズ

会食: 懇親のひとつときです。

講演: 福島 旭 氏

「ワンダー(驚き)フル(いっぱい)に生かされて

~ご機嫌が生み出す笑顔の対話」

諸連絡、今月のうた

閉会点鐘: 大野智恵会長

< 2月出席状況 > 出席率: 70.8%

(出席総数)17/24 (在籍会員数)

出席数: ワイズ 17, (内メーキャップ1)

ゲスト0、ビジター0 計17名

< 2016年度のファンド・累計 >

	2月	累計
ニコニコ	6,000円	41,250円
物品販売	10,000円	31,150円

< ベルマーク集計 累計 >

2月 8810.15点 累計 20740.55点

< 3月第1例会 >

3月9日(木)19:00~三宮ターミナルホテル六甲の間

< 揚がれ! 希望の凧 in 須磨海岸 >

3月11日(土)10:00~12:00 須磨海岸

< 次期会長・主査研修会 >

3月18日・19日新大阪コロナホテル

< 3月第2例会 >

3月23日(木)19:00~神戸市勤労会館408室

< 4月第1例会 >

4月13日(木)19:00~神戸バイブルハウス

神戸西クラブとの合同例会

< 3月のお誕生者 >

13日: 民谷 清ワイズ 21日: 山崎 弥生メネット

食事代として2,000円ご負担頂きます。正会員の欠席、及びネット・ゲスト他出席は前々日迄に井上真二総主事宛連絡下さい。

< 2017年3月の聖句 >

「そして、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きようになるためです。そのお受けになった傷によって、あなたがたはいやされました。

< ペトロの手紙 I - 2章 24 >

キリスト教会には年間を歩む教会歴があります。今年は、3月初旬から4月中旬までが、キリストの苦しみと十字架の死を記念する受難節(レント・四旬節とも言う)に入り、その後に復活祭(イースター)を祝う。なぜ、主イエスは十字架に掛かり、傷を受けられたのか。標記の聖句は、その意味を示す。

それは、神と人間の間の「執り成し手」としてのイエスが、この世の罪と憎しみの力によって打ち砕かれた姿が十字架であった。しかし、自分を引き裂く力、憎しみと敵意の力を、愛の力で新たに生かすために自ら十字架へと登られた。

この道がイエスの十字架の道である。この主イエスの受けられた傷によって人は癒され救われる。この受けられた傷を毎年この季節、私の、わたしたちのための十字架として受け止め直して歩み続ける。(Rev.Nishizawa)

2016-2017年度クラブ役員

【会長】大野智恵【副会長】井内朋博、水野雄二【書記】山田滋己、鈴木誠也、齋藤藤【会計】丹羽和子、小田浩【監事】山崎往夫【連絡主事】坂本庸秀

会長メッセージ

大野 智恵

休日の朝のテレビ番組で、ミャンマーへの日本企業進出についての紹介がありました。ミャンマーの経済成長率は7%を超え、アジアトップクラスの成長を誇っているとのこと。海外企業の進出が相次ぎ、日本の企業も乗り出し、それぞれの強みを生かしてビジネスチャンスを見出そうと挑戦する姿を追うものでした。

その中で、ミャンマーの若者の育成に力を注ぐ会社の取り組みに惹かれました。厳しい経済状況の中でも懸命に働く若者が将来に希望を持てるよう、彼らの能力を磨き仕事に結びつけることをビジネスにしていたのです。単なる金儲けではなく、その仕事人が人の人生を豊かなものに変えていく、素晴らしいことだと思いました。その国の若者は、将来国の成長を担う存在になっていくことでしょう。私たちも、YMCA、ワイズメンズクラブが取り組んでいる「青少年の健全育成」を更に豊かな活動にしていけるよう、皆さんと力を合わせ成長していきたいと思いました。

＜3月第1例会スピーカー＞

福島 旭(ふくしま あきら)氏プロフィール

1962年、京都に生まれる。関西学院大学大学院神学研究科博士課程前期課程を修了後、島根県にある益田教会と広島南部教会で15年間、日本キリスト教団の牧師として遣わされる。その間、フレイザー幼稚園園長、広島女学院高等学校講師、ホスピス・ボランティア研究会代表、被爆孤老老人ホーム『清鈴園』運営委員等を務める。2002年より現職の関西学院中学部宗教主事・教諭および関西学院大学兼任講師。現在、人権教育主任、カウンセリング(特別支援教育)主任、宗教委員長、学校評価委員長。関西学院大学神学部キリスト教教育研究会委員長。保護司。趣味は冠句(短詩文芸)。著書『GOOD NEWS～新約聖書』、『EXODUS～旧約聖書』、『信じるヒント』他。

＜2月第1例会＞

日時：2017年2月9日(木)19:00～21:00

場所：神戸市勤労会館 407室

出席者：安倍、井内、井上、大野智、小田、郡、佐野、鈴木、高見、民谷、西澤、丹羽、東、水野、山崎、山田



井上：4月熊本地震の後、5月、11月と現地を見る機会に恵まれた。阪神大震災の際に熊本の人達に支援して頂いたこともお聞きできた。今後も我々の経験をどのように活かすことができるかを考えていく必要がある。

西澤：教会での礼拝後、1月に婦人会主催で講演会を実施

した。放射能、福島支援、「いのち」を見つめ、いかに確保していくか。経済的、国家的レベルの問題があるなかで一番大切なことを見つめる必要がある。会員員だけではなく外部から参加していただいた。教会の礼拝だけではなく、外に押し出す「技」を持たなければならない。

水野：神戸聖隷福祉事業団の中間管理職研修。レジリエンス(ストレス、プレッシャーを跳ね返す力)。人は脆弱因子をレジリエンス因子も持っているが、レジリエンス因子を高めるとメゲ難くなる。そのレジリエンスを高めるには、自尊感情を高める、ユーモアを大切にす、支えてくれる人をもつ(支える)があげられる。特に研修対象の中間管理職に対して、支えて、支えられる存在になって欲しいという期待をして話をした。

山田：昨年、高見さんと共に石巻を訪問し、仙台YMCA村井総主事の案内により、浪江町原発等を見学した。その後、高見さん、安倍さんが入会され大変嬉しく思った。また熊本へ大野勉さんと訪問した。嬉しい事も多く激動の1年であった。その後も新たに2名入会がありメンバーが24人となって、六甲部で一番の大所帯でもあり、今後のクラブの在り方を考えていくいい機会である。また大学の講義を担当させていただいたことも幸せであった。

山崎：齋藤さんについて2番目の長老となり、来年80歳になる。人生の終わりで終活中である。祖父のお墓が天津膳所の教会墓地にあり整理中。男兄弟もおらず、女性たちは嫁いでいるし、また遠方でもあり将来無縁墓にならないよう、整理をしようと膳所教会へ寄付できた。「人生は旅」というが、旅が大好きで生きがいを感じる。馬にとって鼻先にぶらさげられた人参のようなもの。意図的に一人旅を時々したりしている。先週までの一週間もバンクーバーへ行って来た。小さな用事で息子と行ってきて、かつてのYMCAの英語教師やスタッフとも旧交を温めることができた。

佐野：来年は還暦を迎える。ほど遠いと思っていたので、

まさか自分がと思っていた。酉年で、5月に小学校の還暦同窓会をする。ほうっておいても年をとる。体力的には70歳ぐらいか。家業を家内と2人でやっているのバテ気味でもあり、もし就活の方もぜひご紹介頂きたい。そのようなこともあってこれまで喧嘩をしなかったが、たまに衝突をしている。例会のドタキャンをお詫びし、出来るだけ、例会や裏方、出来ることは何でも一生懸命今後も頑張っていきたい。

郡：去年の暮に3代続いた店を閉店した。震災で自宅も店もつぶれ、その後、1億円近い借金を払い終えた。得意先があるので利権も含めて吸収合併してもらったが、手が回らないので、私付でということ仕事も続けることになった。しかしこれまでのお客さんがついてくれているので簡単には手放せない。比較的午後は余裕が出てきたし、教会にも礼拝の最初から出席できるようになった。

丹羽：自分も高齢者の定義にあてはまる。70歳になったら教会を辞めてと思ったら、マレーシアへ行くことになり、帰国後ものんびりしようと考えていたら母教会のサポートをすることになった。父が86歳までしていたのでその血を引いているのかと感じる。これまで家族が支えてくれたから自分の事ができたので、「お母さんのいう事はあてにならない」と言われているが、今後は子供たちの支援をして行きたい。

東：毎月1回の通院日での出来事である。以前、入院した時に知り合ったその時10代だった女性とばったり出会った。彼女は親しらずを4本抜く全身麻酔で入院したそうである。お互い、久しぶりに入院すると妙な懐かしさがあり、食事のこと、写真を見せあいながら、盛り上がった。長期の入院はしんどい思いをするが、色々なこと、支えてもらったことを思い出す。制限があるなかでも希望、自由がある。人はささいな事を、見つける事ができる。メネットでの活動でも子供の貧困、自由を守るために主張して行かないといけないことがある。

小田：昭和17年生まれで、1月で75歳になった。甘いものが何もなく、魚しかなく、細い身体だが骨太である。この間、誕生日に電話がかかってきた。どうやら銀行からもめ事防止のため、トラブル防止のための受け答えのチェックだった。12/22~1/22 インドネシアを訪問し、1日2時間語学勉強した。その時に「日本人は信頼できる」という嬉しい経験をした。

ジャカルタから台北へ行く飛行機の故障があり、その航空会社に宿泊予定である台北ホテルの価格を言ったらその金額を渡された。他の国の人は殆どの場合クレームを言い、宿泊金額も2倍も3倍も言うらしい。信頼は一朝一夕には作ることはできず失うのは一瞬であり誇りに思った。

安倍：みなさんスピーチが上手く、緊張していたが、小田

さんの話を聞いて落ち着いた。小田さんへの電話については本当に「銀行なのか」と疑った、心配して聞いていた。大学生の知人が就活中で集団面接みたいなことをやっている。その学生はあまり弁が立たず、ショックを受けていたので、話すことより聞くこともとても大切であろうと思うので慰めた。自分で話すよりも人の話を聞いた後にどう引き受けるか？ディスカッションの論点を整理する必要がある。大学生は自由であるが、不自由があるから自由がある。最近では家庭での不自由を感じるが、ワイズの活動は大変自由である。夏ごろに第三子が生まれるので不自由であるがしあわせである。

高見：入会して7か月が経過した。仙台を訪問したのが最初。その後も6月の下田会議、8月の台北、野尻湖、9月シアトル、そして先日の東山荘での東西交流会にも参加した。意味もわからず、手探りの状態である。2~5月はとても忙しかったが一段落し、次は7月のチェンマイにも行く予定で、7-9月は比較的時間があるので活動したい。

鈴木：「ニコニコ」は嬉しいことがあったらフアンドづくりとして復活させたい。自分は本当にハッピーだったという気持ちが大切。73歳で初孫ができ、孫が成人するまで生きる希望を持ちたい。ワイズの活動はTOF等、ロースターのピンクのページを読んで欲しい。薬漬けの中だが、難聴状態が強く、マイクなしでは聞きとれない。又、無呼吸症候群の為宿泊を伴う会合には参加しにくい。我がクラブは年齢層のバランスが理想的であることが六甲部部長や元理事会でも褒められた。次は30人を目指し、若い人に入会、継続してもらえるようにしていきたい。

大野智：会長メッセージ、毎月書かないといけないし、お伝えしているのでそれほど話すことが無いかも知れない。"会長"という響きによく慣れてきた。1年間会長として「学ぶ」ということだと思った。ワイズに関して夫婦での会話が増えたとし、また、メンバーが増えて褒めて頂いたことは嬉しいことである。輪と和を増やしたいと思っていたし、数だけでなく皆さんが考えていることをより分かりあうことが大事。より良いクラブ活動をしていくことが望みである。家のことで言うと、昨年96歳の父親をみおくることができたので、次は支えていた母をサポートしようと思う。親のサポート、ボランティア、コーラスや音楽などの楽しみを続けて行きたい。

民谷：1月末に帰宅途中、1匹の犬が吠えていたのでどうしたのかと見たら、溝に女性が倒れていた。帰宅途中の女性と同時に「大丈夫ですか」と声をかけ、身体を動かしたら痛いという反応があった。医療従事者であるので、手を損傷していると推察。救急車を呼んでくださいとお願いしたが、パニックでできなかった。溝から引き出し、起こしながら、電話も自分がした。GPSで住所を調べ、救急隊に伝えた。

受傷状態も伝えた。その日の当番病院に搬送されるが、その人は「甲南病院、」と言っていたがどこに搬送されたかわからず、次の日に調べると甲南病院ではなかった。その人の気持ちを汲むことができず残念な気持ちがあった。クラブもそういう身近な叫びの人達に、目に見えるボランティアが大事だと痛感した。与えられたことを活かしていないとならないと思った。

井内: 1年前に自分の仕事や生き立ちを話したことを覚えている。人前で話をするのは苦手。今月で51歳になるが若いころはもっと緊張していた。ワイズは2年弱で、仕事に振り回されながら、何とか例会出席している。来期は会長であり大変で、仕事の兼ね合いを考えると迷惑をかけるかもしれないが、「やるしかない」と覚悟している。不安で迷惑をかけると思うが頑張りたい。PCのフォルダに良い言葉を入れている。毎日の仕事だけだったら同じメンバーとしか顔を合わせないし、自分にはない、いろいろな人と付き合うことによって進歩できる。出会いは自分から求めないと、そのままになってしまう。ワイズの活動で仕事以外に自分がないことを再確認して頑張っていきたい。

<2月第2例会>

日時: 2017年02月23日(木) 19:00~21:00

場所: 神戸市勤労会館 408室

出席者: 大野智、大野勉、小田(記録(前半))、郡、鈴木、水野(進行)、山崎、山田(記録(後半)) 計8名

内容:

(1) 2月第1例会出席確認

(2) 2月活動報告

①東西日本区交流会 2/4(土)、5(日) 於 YMCA 同盟 東山荘、大野智、大野勉、小田、高見、山田
物品販売(柿日和、カード) いくんグッズ販売(FOP広報) 各々完売。金額は会長より丹羽会計へ伝え、ブリテン3月号に載せる。東京むかでクラブとのDBC交流

②西日本区 次期(大野勉理事期)関係

a)西日本区理事キャビネット会 1/25(水)18:30~ 於 神戸YMCA、大野智、大野勉、山田

b)区大会/会場・登録委員会 2/6(月)18:30~ 於 神戸YMCA、大野勉、鈴木

c)区大会/総務委員会 2/13(月)18:30~ 於 神戸YMCA、大野勉、鈴木

d)区大会/プログラム委員会 2/16(木)18:30~ 於 神戸YMCA、大野智、鈴木

e)区大会/会計委員会 2/23(木)14:00~ 於 神戸YMCA、鈴木

f)区大会/実行委員会 2/27(月)18:30~ 於 神戸YMCA、大野智、大野勉、鈴木

③他クラブ、他部会参加報告

大阪なかのしまクラブ 20周年記念例会 2/11 大野智、大野勉、さんだクラブバレンタインコンサート 2/11 鈴木、山崎 4/22 コンサートチケット10枚買って下さった。芦屋クラブ 小田 10枚預け、販売協力を依頼中、神戸クラブ 郡、学園都市・神戸西 2/26 山崎、京都キャピタル 2/21 大野智、大野勉

(3)3~5月クラブ例会予定

① 3月第1例会 3/9(木) 関西学院中等部宗教主事

福島 旭氏(山崎さん紹介文をブリテンへ)、

「ワンダー(驚き)フル(いっぱい)に生かされて~ご機嫌が生み出す笑顔の対話」、於 三宮ターミナルホテル 六甲の間、担当(佐野、丹羽)

② 3月第2例会 3/23(木) 神戸市勤労会館 408室

③ 4月第1例会 4/13(木) 「自分と調和するボイスアート」 まや はるこ氏(丹羽さんご紹介)

於 神戸バイブル・ハウス、担当(井上、西澤)、

※神戸西クラブとの合同例会

④ 4月第2例会 4/27(木) 神戸市勤労会館 408室

⑤ 5月第1例会 5/11(木) 国際協力について JAFS アジア協会事務局次長を予定(鈴木さんご紹介)。緊急援助活動よりも昔から続けている一般的協力事業の話の予定。担当(廣瀬頼、安倍) 三宮ターミナルホテル

(4)今後の予定

①「揚げられ!希望の凧」3/11(土) 10:00~ 於 須磨海岸、ちとせ幼稚園、その他の参加を募る。9:30JR須磨駅集合。誘導係が必要。チラシは出来ている。

②六甲部クラブ会長・総主事懇談会 3/11(土)15:00~ 於: 神戸YMCA 井上、井内、大野智、大野勉

③西日本区 会長・主査研修 3/18(土)、19(日) 於 コロナホテル(新大阪) 井内、大野智、大野勉、山田

④六甲部 第2回評議会 4/15(土)15:00~ 賀川記念館

⑤「被災地復興支援チャリティーコンサート」4/22(土)14:00~ 於 神戸聖愛教会。竹中真氏のジャズピアノ、長田高校合唱、被災地支援報告

⑥西日本区大会 熊本 6/10(土)、11(日) 大野智、大野勉、小田、鈴木、高見、山崎、山田

⑦アジア・パシフィック地域大会 タイ・チェンマイ 7/21(金)~23(日)井上、大野智、大野勉、小田、高見、山田
会則に基づき奨励金を出すことを検討する。

(5)今後の課題 ※大野智 担当者の確認と提案

①「被災地復興支援チャリティーコンサート」役割分担、チケット販売等

・役割分担表(案)に基づき確認。受付はWAPメンバーの支援も含めて増強を検討する。今日の出席者についてはほぼOK。その他は第1例会でも配布して確認する。

②新玉ねぎファン ド 仕入れ

- ・仕入れ 5/6(土)の予定 ※販路拡大と配達方法
- ・これまで当クラブ関係者での搬送、販売だけだったが、東山荘や京都東稜クラブ等、協力が可能な方々へクロネコヤマトで発送するという方法で広げてはどうかという会長提案があり、賛成意見が大半であり、具体的な進め方を検討していくことになった。

③会計中間報告

- ・前回の報告に基づき周知して行く。

④チェンライクラブとのIBC締結に向けて

- ・2,3名招待するとか実行プログラムを考える等、細くても良いので永く続く方法を考えて持参してはとの意見が出た。(チェンマイ訪問迄に、交流委員会でもまとめる。)

⑤長野クラブとのDBC締結に向けて

- ・リンケージ的な交流を進め、実行ある交流を行い、近い将来のDBCを視野に入れて、ゆるやかな交流を続けて行く。

⑥その他

- ・映画「飯館村の母ちゃんたち」の鑑賞に行って頂けるように紹介する。
- ・大野勉さん熊本訪問報告
西日本区理事就任祝いに、東京むかでクラブから車いすを寄贈されることになり、木山仮設団地へ送ることになった。
- ・3/19 神戸 YMCA 会館完成記念礼拝、大野智会長が次期・会長主査研修会のため山崎さん代理出席
- ・クラブ紹介 東京ベイサイドのものを参考にして作ってみる。

<第2回東西日本区交流会開催2月4・5日>

テーマ：語ろう！未来に繋ぐワイズスピリットを！



2月4日、5日国際青少年センター東山荘(御殿場市東山)で西日本区から171名、東日本区から188名、台湾から11名計370名の

参加者で開催。2005年2月第1回の開催より12年ぶりの交流の場となった。(370名のうち250名が今回初参加)主講演は、神戸YMCA理事長・日本YMCA同盟理事で神戸クラブの中道基夫氏の「YMCAのブランディングとワイズ」、2014年度からブランディング作りが始まり、今回その基本が明らかにされ、抽象化されている部分をこれから具体化していく計画とのこと。(詳細は、2016年9月号「THE YMCA」)YMCAと共にあるワイズ故、ブランディングに関心をもつ大切さを思った。

第1日目は、朝から快晴。東山荘の彼方には、稜線も見える富士山。結果丸一日交流会を見守ってくれた。いい思い出にもなった。

夕食懇親会では、6月に開催される東、西日本区大会への参加アピールがあった。その後、6件のDBC交流の場のうち、東京むかでクラブとの場には、長野クラブ(3名)他の参加も得、総勢20名程になり、自己紹介、会員の近況、楽しい出来事や悩み、高齢化、地域の人口減少等、話題は尽きず、クラブ継続には年代の層の大切さを知った。持ち寄りの酒と菓子で、会は盛り上がり、もう零時過ぎ、再会を約束した。

第2日目の講演は、「ワイズとYMCA、今後への期待」前アジア太平洋YMCA同盟総主事山田公平氏によるもので、2022年のワイズ100周年迄に日本から協力関係のモデルを作り、世界に広める、と提案。具体的な作業に入る旨報告された。

新たなDBCは、千葉と大阪高槻(9名出席)、大阪泉北(9名出席)と台北A(4名出席)の2件。締結式は厳粛に進められ、多くの人の前で完了。祝福される一時だった。

<その他>

- ・物品販売は、柿チップ、カード、いっくん著作物を2日間にわたり販売。ほぼ完売であった。

- ・前夜祭では「星空の下の富士散策ツアー」に16名参加。見上げる樹木の中に散りばめられた星の数と輝きは、自然の贈り物。素晴らしい！の一言で充分。又、夜の富士山、白雲が裾野から湧き上がる気配も憧れでもあり、感動する時でもあった。

<大会の印象>

東日本区の会員と会える数少ない機会をもてたこと。そして、情報交換ができ、誰でも率直に話し合えるワイズの場でもあった。YMCAのこと、ワイズのこと、両者の関係のことに体験見聞し、体感できた。盛りだくさんのプログラムを短時間で消化し、会員シニアは大概元気。「クラブ

の財産は人」とも実感した。クラブからの参加者は、大野会長、大野勉、山田、高見、小田。 (小田記)

<大阪なかのしまクラブチャーター20周年記念祝会>

2月11日、160名のワイズメンが大阪なかのしまクラブの20歳のお誕生日のお祝いに集まり、しなやかで芯のあるなかのしまクラブの新しい出発の時を共有できましたことは喜ばしいことでした。これだけ多くの方の参加があったということは、なかのしまクラブのこれまでの豊かな活動と幅広い交流の表れだと感銘を受けました。アトラクションでは、「発達障害を考える～音楽とともに～」というテーマで中村徹さんとお父様の健さんの心温まる演奏とお話があり、とても素晴らしい内容でした。また新しい世界を見せていただいたように思います。神戸ポートクラブは、来年度30周年を迎えますが、その時を心から喜べるように今の活動を充実させていきたいものです。

<他クラブ訪問記>

○学園都市・神戸西クラブ合同例会訪問

去る2月16日(木)神戸ポートクラブのチャリティーコンサート案内と友人の入会式のため上記の例会に参加。

最初に新入会員の入会式があった。1971年夏神戸Y主催の「北米夏季英会話研修」に参加以来友人であった長坂泰一さんが昨年9月の神戸YとシアトルYのユース交流50周年記念式に参加し、10日間私とホテル同室でティラムク、バンクーバーも旅を通して、Ys入会を決意されたのです。残念ながら彼はテニス仲間のいる学園都市ワイズを選んだのですが、六甲部にとってはEMC増強となり、嬉しいことです。合同例会のメインはお茶に関する講話と実習で多くの種類の御茶の入れ方、選び方を学び、大変興味のある内容でした。 (山崎往夫記)

○2月11日(土)さんだクラブ・バレンタインコンサートに参加してきました。クラブ設立以来続いているコンサートでクラブを上げて頑張っておられました。内容は、箏や石油ポンプ等、びっくりするような生活道具を使った演奏と、アカペラ合唱でした。山崎、鈴木参加(鈴木記)

○2月21日(火)ウェスティン都ホテル「葵殿」にて

京都キャピタルクラブ2月第2例会「メネット例会」に出席してきました。なんと講演を依頼され、「メネットと共に(私の場合)」と題して、20分お話し(歌3曲をまぜて)させていただきました。キャピタルクラブは、9月ではなく、毎年2月にメネットを招待して例会を持たれています。今回は、11人のメネットを招待されていました。智恵ワイズも同伴でしたので、面映ゆい思いでのお話しとなりました。例会後、ラウンジでの2次会の中で、たくさんの方々と懇親を深めることができました。(大野ベン記)

<会計より>

最近「ここにこ献金」の額が少し増えていることにお気づきでしょうか。嬉しい事です。その理由の一つは、「ここにこ献金」が誕生日の感謝だけでなく日々の生活の中の嬉しい事や感謝したい気持ちを献金として捧げるという本来の趣旨に添って捧げられている方がおられるためだと思います。

そこで、そのような内容をメンバー同志で、より共有できるように誕生日以外の献金を「ここにこ献金」として捧げていただく時に、(箱の中にメモと筆記具を入れておきますので)できれば、「孫が生まれて感謝」「病理検査の結果が良かった！」等などの嬉しい理由をお名前と共にメモにご記入いただき(金額は不要です)、ブリテンにその内容を掲載し喜びを共感できればと願っています。勿論、名前内容共に掲載不要もOKです。

*下半期のクラブ会費納入をお願いいたします。

例会時に丹羽会計まで、または「三井住友銀行須磨支店、普通預金3749607神戸ポートワイズメンズクラブ会計小田浩」宛に個人名で入金した上で丹羽会計宛電話か郵送でお知らせください。同時にYMCA維持会費もご確認ください。

<その他報告・お知らせ>

*第20回西日本区大会の案内は、各自に届いたはずですが、今回の申込は個人単位でのWEB登録かFAX登録ということです。各自申し込みされると予約確認・請求書が届きます。大会登録費は早期割引は3月31日まで20,000円、5月10日まで22,000円です。登録された方は大野智恵会長まで届けてください。

*元国際会長、日本区理事の竹内敏朗ワイズ(熱海グローリークラブ、91歳)が2月24日逝去されました。

*熊本に11番目の熊本水前寺クラブ誕生、3月25日設立総会です。

神戸YMCA マンスリーレポート

1. イースター早天礼拝

1922年に諏訪山金星台でもたれた復活節早朝讚美礼拝から95回目になります。今回は、日本基督教団栄光教会の榮厳伝道師がメッセージをくださいます。

日時：2017年4月16日(日)午前7時から8時

場所：神戸東遊園地

(雨天は神戸YMCA三宮会館チャペル)

2. 神戸YMCA創立記念日礼拝

日時：2017年5月8日(月)午後6時30分から

場所：神戸YMCA三宮会館チャペル

奨励：棟方信彦氏

頌栄短期大学学長・頌栄保育学院院長